

令和3年度

事業計画書



公益財団法人草津市コミュニティ事業団

はじめに

当事業団は、草津市協働のまちづくり条例に基づく市の指定を受けた中間支援組織として、市民公益活動団体や地域まちづくり協議会など民間のステークホルダーと行政との官民連携の結節点として協働のまちづくりを推進しています。事業団では平成30年度から令和4年度までの中期行動計画「アクションプラン2018」を定め、“市民に愛され、草津で末永く協働のまちづくりを推進していきます”をビジョンに掲げて様々な事業を展開しています。

令和3年度は、新たにオープンする草津市立市民総合交流センター「キラリエ草津」に拠点を移し、ともに入居する男女共同参画センター等の市の機関や、草津市社会福祉協議会等の関連団体との連携・協力関係の強化が望まれます。また、「アクションプラン2018」計画期間の最終年度となる令和4年度の総仕上げに向けて、令和3年度の事業展開において着実な成果を求めなければなりません。Withコロナ時代の新たな生活様式が求められる中、こうした社会状況の変化にも柔軟に対応しつつ、さらなる「事業団ブランド」の確立を目指し、草津市の豊かなコミュニティづくりに欠かせない「オンリーワン」の組織として、事業団は次に掲げる基本方針のもとに令和3年度の事業計画を定めることとします。

（1）事業団ならではの専門性とネットワークを活かした“中間支援”の追求

草津市では令和3年度から「第6次草津市総合計画」がスタートします。その第1期基本計画でリーディング・プロジェクトのひとつとされた「地域の支え合い推進プロジェクト」に貢献する事業展開として、各地域まちづくり協議会に対し、引き続き労務・税務等、公会計業務の支援や地域課題の相談対応を行うとともに、市民公益活動団体等に対しては従来の事業展開に加え、立ち上げ支援を伴走型で行う資金助成制度などきめ細かい支援を図ります。

指定管理施設の運営では、高齢者を含む多世代間交流を図り「健幸都市」を推進するロクハ荘、みどりのサポートセンターを窓口に「ガーデンシティくさつ」を推進するロクハ公園、草津市文化振興条例に基づき市民とともに創るスタイルで「13万人の文化プロジェクト」等を実施する文化ホールが、それぞれの施設の特徴を生かしながら市の政策実現を支援するとともに、「キラリエ草津」のオープンに伴い、4月末で閉館となる現まちづくりセンターは、最後まで利用者に快適なサービスを提供します。また、各指定管理施設では、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、引き続き感染症拡大防止対策を万全に実施し安全・安心な施設運営に努めます。

(2) 組織の足腰を強くする経営・人材マネジメントの強化

持続可能で安定した経営基盤を確保するため、現在、受託している指定管理施設については、事業の選択と集中により効率的かつ合理的な施設運営に努めるとともに、事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の運営する社会体育施設については、令和3年度が指定管理の更新年次となるため、運営パートナーのコナミスポーツと連携し次期指定決定に向けた「政策支援型」の提案準備を行います。

また人材マネジメントについては、引き続き各種研修や評価制度等を用いた人材育成により職員力アップを推進するとともに、労務環境面での「働き方改革」関連の法改正への適合を図りつつ、市とも協議・調整のうえで長期的視野に立った事業団の組織体制のあり方を検討し、その方針確定を行います。

(3) 戦略的な情報発信とブランド力の強化

市民生活を中間支援組織として支える「オンリーワン」の組織として事業団の使命を達成するには「事業団ブランド」の確立が欠かせません。そのため、経営に参画した「えふえむ草津」や動画チャンネルの活用など新たな情報媒体を積極的に活用し、「コミュニティーくさつ」やホームページなど既存の情報媒体とも連携させて情報を重層的に発信します。

とりわけ、「えふえむ草津」の活用では、安定軌道に乗った市民主役の情報番組「くさつコミュニtea time!」をより一層定着・充実させ、さらなる認知度の拡大を図るとともに、動画チャンネルへの効果的な導入を促す事業団HPの改修、まちづくり情報紙「コミュニティーくさつ」の地域版発行による地域密着型へのチャレンジなど、戦略的な情報発信により市民に身近な事業団としての価値を高めます。



事業計画

I 公益目的事業

1. コミュニティ振興及びまちづくりに関する事業

(1) まちづくり振興

ア. まちづくりに関する情報の収集および発信

①まちづくり情報誌「コミュニティくさつ」の発行（2,518 千円）

市内の特色ある団体や取り組みを紹介するまちづくり情報誌として発行します。配布協力いただく町内会の負担軽減を図るため、今年度より発行回数を例年の4回から2回へと減らすとともに、誌面の仕様変更も行います。

また市域版とは別に、これまでの情報誌作成のノウハウを活かし、希望する地域まち協（2地域）と連携協力しながら、地域版情報誌を1回発行し、地域まちづくり情報の充実と広報力の向上、地域とのつながりづくりへと活かしていきます。



②市民活動団体情報つながりのめ（239 千円）

中間支援組織が備えるべき情報として、市内の市民活動団体の基礎情報を収集し、相談対応・ボランティアコーディネート・事業団各種事業等に活用していきます。収集した情報については冊子化およびHPにて発信し、団体同士の自主的なつながりづくり、協働事業の推進に活かしていきます。市民総合交流センターへの移転を機に、新たな団体の情報を充実させるとともに、これまでの情報についても活動の実態などの精査を行いながら、情報の拡充と整理を行います。

③コミュニティFMを活用したまちづくり情報の発信（2,014 千円）

まちづくり活動に取り組む団体の活動PRの機会として、今年度もFM番組「くさつコミュニティTeaTime」を、えびえむ草津と連携しながら放送します。“市民自らが出演するFM番組”として情報誌や助成事業、まち協支援事業などと連携しながら、多くのまちづくり活動団体出演してもらえ



るようコーディネートします。

④まちづくり協議会 HP 運営サポート（360 千円）

地域まちづくり協議会運営の透明性の確保と広報力の向上のため、希望する地域まちづくり協議会の HP 運営サポートを行います。11 のまちづくり協議会と HP 保守業務を締結し、IT系 NPO と連携しながら運営をサポートします。また、希望する協議会に対しては SNS 開設やオンライン会議の指導など HP 以外の情報支援も行います。

イ. まちづくりに関する相談およびコンサルティング

① 相談・コンサルティング（138 千円）

中間支援の基幹業務として、まちづくりに関する各種相談に職員が対応します。団体運営や事業の進め方に関する助言から、団体間のコーディネートまで幅広い対応を行います。依頼のあったまちづくり協議会に対しては、地域まちづくり計画策定サポートや講師派遣、事業団施設などと連携した各種サポートも実施します。また、職員一人ひとりの中間支援スキルを高め均一化するため、職員研修や自主学習会、他の中間支援組織との情報交流なども積極的に行います。



ウ. まちづくりに関する人材育成および研修

①ひととまちの未来をつくるカレッジ（343 千円）

市民活動団体やまちづくり協議会の団体運営や活動のスキルアップにつながる学びの機会を提供します。助成金の獲得に必要な企画づくりや活動の PR 手法、会計など団体が抱えこみやすい課題を解消・克服につながる実務的な内容を年間 8 回のプログラムで実施します。



エ. まちづくりに関する活動支援および資金助成

①ひとまちキラリ助成（1,638 千円）

立ち上げ期とステップアップの 2 部門で提案団体を募集し助成します。立ち上げ期の採択団体には資金援助だけでなく、活動への助言や広報支援など、活動状況に応じた伴走型サポートを実施します。また、市域や地域で地道に活動する団体を表彰する「イキイキ活動賞」も市内事業所からの寄付をいただきながら引き続き実施します。



②まちづくり協議会 会計・税務・労務等サポート業務（11,104 千円）

地域まちセンの指定管理者として 2 期目を迎えている地域まちづくり協議会の会計、税務、労務などの日常業務のサポートおよびネットワーク環境のインフラ整備と保守を草津市からの受託事業として実施し、各協議会の適正かつ円滑な事務の下支えをします。また、今年度はこれまでの集合研修や個別相談などでもオンラインを導入し、まち協の利便性を向上させるとともに、地域における ICT 活用の推進も図っていきます。

オ. その他、各種団体との協働事業の推進（1,838 千円）*共通経費含む

草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津）への移転を踏まえ、新施設の入居団体やこれまで出会えなかった市民活動団体との関係をつくりながら、柔軟に各種団体との協働事業にチャレンジしていくとともに、新施設を頻繁に訪問し事業団を応援してくれる事業団ファンの獲得に積極的に取り組みます。

(2) まちづくりセンター

「登録団体と創るもっと元気な草津のまち～市民公益活動の活性化を目指して～」の運営理念のもと、まちづくりを円滑に進めるための中間支援の拠点施設として、多くの市民が利用し、活動できるよう、より身近で親しみやすい空間の提供を4月末の閉館までの一か月間引き続き指定管理者として管理運営を行います。

(3) コミュニティ活動支援

5月6日にオープンする草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津）の5階にある交流スペースについて、市が市民公益活動支援の一環として行う業務をサポートするとともに、これまで草津市立まちづくりセンターにて事業団が実施してきたコミュニティ活動の支援事業である草津コミュニティ支援センターのサポートと、まちづくり機器貸出事業をキラリエ草津に拠点を移して継続実施してまいります。

①キラリエ草津5階交流スペース業務のサポート

市民公益活動団体が集い交流する場所の利用案内や日常管理をするとともに、様々な機能を持った複合施設であるキラリエ草津がよりよいセンターとなるよう、また、市民公益活動団体が活動しやすい環境を整備するため市が実施する「団体登録制度（キラリエサポーター制度）」の申請案内などの業務をサポートします。

②草津コミュニティ支援センターのサポート（2,556千円）

公設市民営として「草津コミュニティ支援センター運営会」による自主運営を基本に、事業団は施設管理のサポートをします。また、利用団体への鍵の受け渡し管理は、運営会が管理責任者として保管管理する形へ変更し、緊急時の対応についても運営会が一次対応することとして、事業団はバックアップ体制を取りサポートします。

③まちづくり機器の貸出（1,338千円）

市民公益活動団体や、まちづくり協議会、町内会等が地域のコミュニティ振興を図るため実施するイベント等に利用する「各種まちづくり機器」を貸し出します。これまで草津市立まちづくりセンターにて実施してきましたが、キラリエ草津へ拠点を移し、貸出等の手続きにかかる運用を一部見直しして継続実施します。

2. 高齢者福祉及び多世代交流に関する事業

(1) 長寿の郷ロクハ荘

新たな指定管理期間（令和2年度から5年間）の2年目となります。指定管理提案としてこれまで行ってきた「健幸都市くさつ」を基に、ロクハ荘を「アクティブ・オープン・プレイス」と位置付けた運営を行います。また昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら安全・安心な管理運営に努めてまいります。

① 高齢者の外出の機会の創出（347千円）

普段の生活で遠出が出来ない方への楽しみや仲間作り等に向け、外出機会を創出します。コロナ禍だからこそ身近な場所で安全に安心してご参加いただけるよう、参加者の安心に配慮したマッチの会バスツアー、こちらから地域に出向いた「駆け付け講座」や巡回バスを利用した「お出迎え講座」を引き続き実施します。

また、公園利用を含めたフレイル予防の新規事業としてロクハウオークを開催し、公園事業との連携を強化するとともに、ロクハ荘とロクハ公園に一体感のある空間演出を行い、子どもたちの声が聞こえ、多世代が交流する場所と機会を提供します。



② 高齢者の社会参加の場の提供（6千円）

利用者や地域の方との「防災と安心のまちづくり」の一環として地域ぐるみ（町内会・地域活動団体等）の避難訓練（くさつシェイクアウト含む）を実施します。運営協議会での委員の発案事業や、ロクハ荘ステージを活用した市民によるパフォーマンスの場を提供するなど、市民とともに高齢者の社会参加を促進します。



③ 仲間づくりの輪を広げる（100千円）

J A草津市の協力による新鮮野菜販売の「旬菜館」は年々盛況となっています。手話やウクレレ講座など新たな趣向の事業を展開することでロクハ荘をより多くの方に利用していただくきっかけ作りとし、多くの方々が顔を寄せるふれあいの場を提供します。

④ 多世代の交流が深まる（664 千円）

コロナ禍での感染症拡大防止対策として、開催場所を公園や中庭に移し「緑葉（ロクハ）あそびクラブ」や「つどいの広場くれよん」と連携した子育て支援イベント等を継続して行います。



同好会の一大イベント「ふれあいまつり」は、長年に渡る歴史が25回で途絶えましたが、新たなチャレンジとして同好会とアイデアを出し合い、同好会発表の場を提供します。

⑤ 自らの健康づくりや介護予防の継続（581 千円）

・びわ湖くさはつはつらつCLUBは、平成28年度に～高齢者福祉の充実～フレイル予防事業として始めました。発声を伴うスポーツボイスをコロナ禍でも出来る形式に対応し、継続して株第一興商と共同でフレイル予防に取り組みます。

・筋肉量を増やし転倒防止へと繋げて健康寿命を延ばすため、立命館大学スポーツ健康科学部との連携で始まった「健康バンド」をロクハ健康プロジェクトの一翼として運営し、市の健幸都市宣言に沿った事業展開を行います。

・草津市社会福祉協議会と連携し、駆け付け講座、お出迎え講座など外出するきっかけを提供してきました。講座参加者からはロクハ荘での定期的な講座開催を希望される声もあり、今年度は対象をロクハ荘利用者に広げて「おんがくストレッチ」を新規開催し、市民から日頃の利用者までの健康づくり、人とのつながりや引きこもり防止へとつなげます。



3. 環境及び公園緑地等に関する事業

(1) ロクハ公園等

令和3年度から新たな3年間の指定管理事業がスタートします。事業団、草津造園協同組合と(株)サンアメニティ大阪の三者共同体制としては2期目となります。

平成30年度から3年間の三者共同体による運営実績と反省を踏まえて、「施設を知り抜くプロの連携による安全・安心・快適の提供」、「みどりのサポートセンター発の地域による地域のための公園づくり」「誰もが健康で幸せに暮らせる健幸都市の拠点として地域コミュニティ活動と協働の公園づくり」を柱とする運営方針として重点的に取り組みます。

また、事業運営においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として令和2年度に構築した「ロクハモデル」を継承・発展させながら、市と密接に連携して利用者へ安全・安心・快適にご利用頂けるように努めます。

①ロクハ公園プール管理運営事業（構成団体 30,109千円）

構成団体である(株)サンアメニティ大阪が全国で実施しているプール運営事業による知識と経験を駆使してプールの管理運営を行います。プール施設を利用した各種水泳教室やヨガ教室、プールイベントなどの開催や、プール利用者に対するロクハ荘温浴施設の利用料金割引などロクハ荘と連携したオールロクハのサービスを提供します。

また、利用者が安全・安心・快適にプール施設を利用して頂けるようにリスクやハザードを除去し、「ロクハモデル」の継承・発展による新型コロナウイルス感染症拡大防止対策など衛生管理の徹底を図り、「事故ゼロ」で行って良かったと思って頂けるロクハ公園プールを管理運営します。



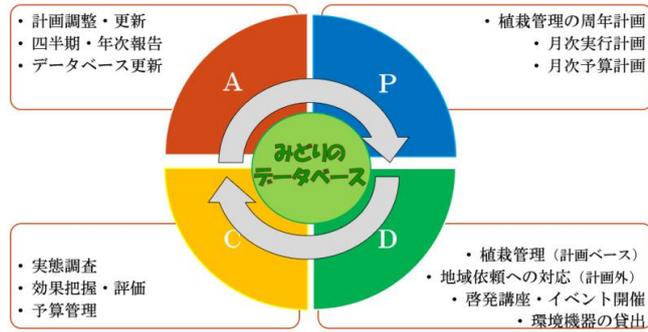
②公園維持管理事業（構成団体 14,003千円）

ロクハ公園を含む約330か所の市内児童公園などの遊具や外構の点検、設置、更新と危険遊具の撤去や公園施設の維持管理を行います。

令和3年度より市民からの要望や問合せの窓口が指定管理者へ一本化される事を受けて、窓口として「みどりのサポートセンター」を設置して構成団体である草津造園協同組合とともに対応します。



公園内の植栽の剪定などを適正、公平、かつ経済的に実施するため、「みどりのデータベース」（樹木台帳）に基づく周年管理を行うインフラ整備の早期実現に向けて市への働きかけを継続します。



本年度より（株）サンアメニティ大阪がデイキャンプ場利用者へBBQ器材や食材の提供する「てぶらでBBQ」やロクハ公園内にドッグランを設置して愛犬家と一般の公園利用者が、より安全・安心・快適にロクハ公園を利用出来るサービスを開始します。

③「みどりのサポートセンター」ボランティア支援・ガーデニング推進事業

「みどりのサポートセンター」をロクハ公園に設置し、草津造園協同組合とともに「未来に向けた花と緑のまちづくり～ガーデンシティくさつ」の活動理念を実現するために住民による公園管理を総合的にサポートします。

植栽樹木の剪定や維持管理の指導、草花を使ったガーデニングなど花と緑に関する相談をそれぞれニーズに応じてサポートするとともに、各学区のまちづくりセンターを草花で飾る企画やサポーター育成などを提案し、花と緑があふれる街並みづくりに貢献します。

市民のガーデニングのお手本となるよう、ロクハ公園のメインストリートであるプロムナードを四季折々の装飾を施し公園利用者の憩いの場を提供します。



④環境学習事業やロクハ荘との連携事業

環境学習事業ではロクハ公園の恵まれた自然環境を最大限活用して、ウォッチングシリーズ、ロクハツアーシリーズ、〇〇の日シリーズ、カブトムシ観察会などの人気企画の自主事業を継続し、また、市内の小中学校と連携した「自然の大切さ」などを遊びながら学べる場を提供します。隣接するロクハ荘と連携して、高齢者を対象にロクハ公園の施設や自然環境を利用したフレイル予防講座や「くれよん」の未就園児童と保護者を対象にした植栽や水遊びなどオールロクハで「健幸都市くさつ」の推進に貢献します。

ロクハ公園以外では市内の児童公園などを拠点として植物を育てる作業を通じて身体機能の維持向上や認知症状の改善を図るプログラムを地域住民に提供していきます。



4. 社会教育及び文化・スポーツに関する事業

(1) 文化ホール

新たな指定管理期間（令和2年度からの5年間）の2年目に入ります。「“あなたらしさ”をプロデュースする文化ホール」を基本理念に、「made in くさつ」の文化、「草津らしさ」「草津スタイル」と呼ばれる、草津の個性となる文化芸術事業を実施します。

事業団の強みである地域でのネットワーク力、コーディネート力を有する中間支援機能（アートセンター機能）を拡充し、草津市文化振興条例および同計画の推進に寄与します。

昨年度は、多くの公演が新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止や無観客、客席制限、リモート音楽会になりました。コロナ禍、文化団体支援をする中で得た、新たな出会いやつながりを今年度事業に反映したプログラムを中心に展開します

ア. 市民企画提案事業（2,306千円）

① 月刊アートセンター 市民と創るコンサート2021 【クレアホール】

市内で活動する音楽団体を中心に四季折々に市民とホール、えふえむ草津が協働で創るコンサート。（公開ラジオ収録番組）

市民プロデューサー、市民パーソナリティ、文化コーディネーター等文化の担い手の育成を目的とします

イ. 市民交流 次世代育成事業（988千円）

① 草津アートセンタープロデュース

『 マッチと一緒に あ・そ・ぼ 』コンサート 【クレアホール】

未就園児と家族を対象に、オリジナル絵本『おさんぼマッチ』のオペレッタとミュージカルショーを子育て支援と若手アーティスト育成を目的に実施します。

ウ. 鑑賞事業（4,728千円）

①クレア劇場2021 劇団四季ファミリーミュージカル 【クレアホール】

日本を代表するミュージカル劇団のファミリーミュージカル公演

② クレアで会いましょうコンサート2021 【クレアホール】

滋賀県アートコラボレーション採択事業

草津出身、ゆかりのアーティストによる作曲家シリーズコンサート

エ. 創造事業 (3,022 千円)

①クリスマスコンサート2021 【クレアホール】

市民オーケストラを中心に市民合唱団等で創るクリスマスショー

②『くれあ座』子ども和楽団ワークショップ 2021【クレアホール】【アミカホール】

箏 日本舞踊 尺八 三味線、三線のワークショップを通じた和の文化体験講座

③クレア舞台芸術学校2021【クレアホール】

草津歌劇団 予科生 本科生の募集



オ. 普及事業 (1,086 千円)

①おうみ狂言図鑑 2021 【クレアホール】

童子カンパニー 茂山家による新作狂言、古典狂言

カ. 草津アートセンター事業 (2,258 千円) 【クレアホール】 【アミカホール】

①クレアホールからこんにちは 【アウトリーチ】

草津市文化振興条例 基本計画に基づいた重点プロジェクト

『13万人の文化プロジェクト』

『次世代文化体験プロジェクト』

『ふるさと草津の心プロジェクト』 の実施 等

②アーティスト登録

アートセンターニュースの発行

FMくさつ月刊アートセンター番組制作 ほか 情報発信

③アートマネージメント講座

キ. 市民協働事業（3,254 千円）

① クレアプラスフェスティバル【クレアホール】

市内中学生、高校、大学と 一般社会人バンドが一堂に会するブラスの祭典

② 草津市文化祭 【クレアホール】

草津市文化協会会委員と公募市民による発表

③ 草津市合唱祭【クレアホール】

草津市合唱連盟と一般公募団体による合唱の祭典



(2) スポーツ振興

事業団が出資する合同会社草津市スポーツ振興事業体の業務執行社員の一員として、スポーツ施設の運営および維持管理を行います。構成団体にコナミスポーツを加えた指定管理の3年目（最終年）にあたることから、申請書に記載した提案事項を確実に実行し、次のステージへ向けた準備を整え、次期指定管理者に指定されるように構成団体や連携団体との協力体制をより強固なものにし、視野を変え、チャレンジする勇気を持って提案書の作成に取り組みます。また、令和3年度に策定予定の「第2期スポーツ推進計画」で拡大・追加予定の項目については、可能な限り対応をしていき、次期の指定管理申請に活かして基本理念である『みんなが スポーツ大好きなまち くさつ』の実現に向けての努力を持続します。

<指定管理者としての管理施設>

- ①総合体育館
- ②弾正公園（草津グリーンスタジアム、弾正テニスコート、多目的広場）
- ③野村運動公園（グラウンド）
- ④ふれあい体育館・運動場
- ⑤武道館
- ⑥三ツ池運動公園（芝生グラウンド、テニスコート）
- ⑦野村公園 YMIT アリーナ（くさつシティアリーナ）



施設の運営にあたっては、利用者が快適で安全に利用できるよう、施設の維持管理の充実を図るとともに、公平・公正に努め、関係団体との連携を強化し、各種サービスの向上に努めます。感染症予防対策として、マスクの着用や毎朝の検温等を各職員が徹底するとともに、利用者と協力し換気や密を避ける対策を施しながら行います。YMIT アリーナでの「にぎわい創出事業」についても主催者との感染症対策を含む打合せを徹底し、安心してご来場いただける準備を整え開催をしていきます。

また、スポーツ事業についてはコナミスポーツの持つネットワークを活かした新たな事業を行うとともに、第2期草津市スポーツ推進計画を確認のうえライフステージあわせた事業等を充実させていきます。さらに（公社）草津市スポーツ協会や各種団体などが実施するスポーツイベントへの積極的な関与、地域コミュニティによるスポーツ文化の推進や競技スポーツの発展に寄与します。

1. 公共施設管理

公共サービスの充実や公益目的事業に付随する事業を行うことにより、住みよいまちづくりに寄与することを目的として公共施設の管理等を行います。

①道の駅草津駐車場

「道の駅草津」駐車場の管理運営を受託し、ドライバーの安全で快適な運転に要する休憩の場を提供しながら、草津の歴史・文化・名所などの紹介など、県内外から車で訪れる利用者にとって草津の玄関口となる多機能型の施設として、情報発信と地域振興に努めます。

②ロクハ荘、まちづくりセンター、クリアホール、アミカホール、ロクハ公園等の維持管理

ロクハ荘に設置されている温浴施設をはじめ、まちづくりセンター、クリアホールやアミカホールおよびロクハ公園等の修繕や維持管理を、より一層の経費節減に努めながら適正に行います。